

株主のみなさまへ

第112期

中間報告書

2020年4月1日～2020年9月30日



株式会社 日新

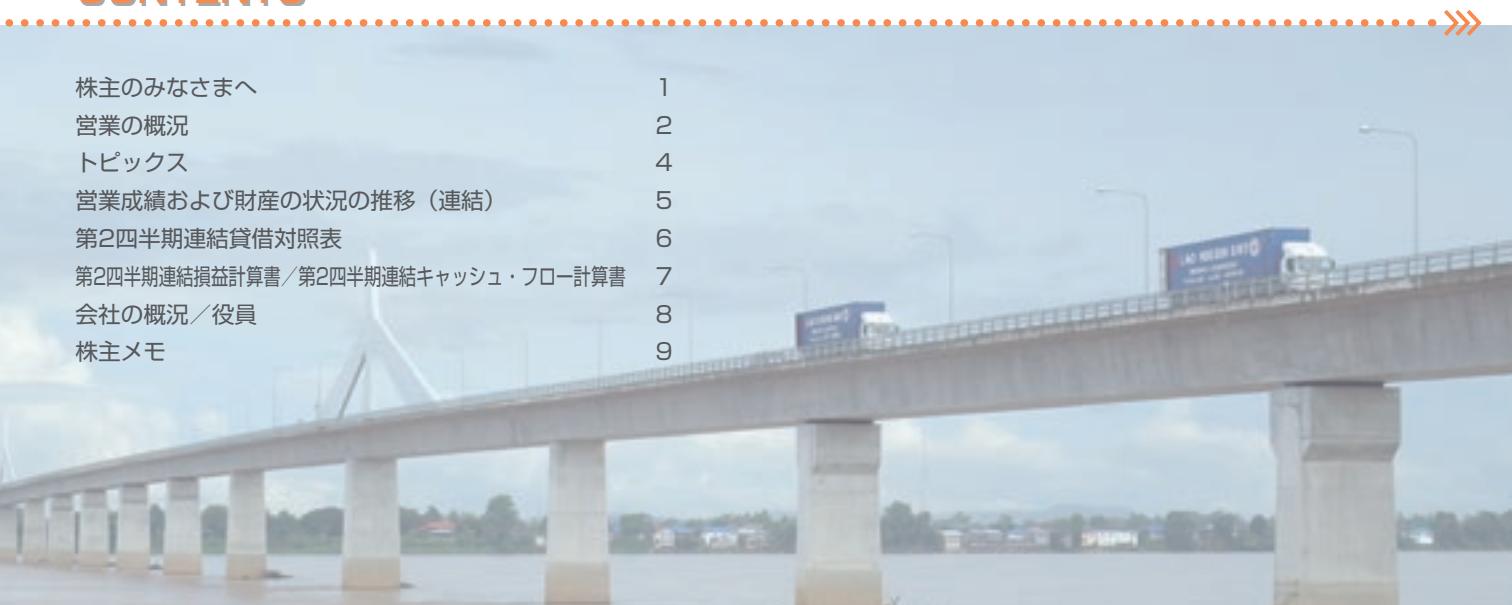
経営の基本方針

当社グループは、社名の由来である「日々新たに、また、日に新たなり」の精神を基本に、自己革新を続けながら、安全・迅速・低コストに高品質な物流・旅行サービスを提供することで、豊かな社会の実現に貢献するとともに、お客様との間に信頼を築き上げながら企業価値を高め、株主をはじめとするすべてのステークホルダーのご期待に応えることを経営の基本方針としています。

この基本方針を実現するために、当社グループは、経済・社会の発展に不可欠である物流事業をはじめ旅行業などの関連事業を、企業倫理・法令遵守の徹底および地球環境保全への積極的な取り組みなど企業の社会的責任（CSR）を果たしながら、グローバルに展開していくことを目指しています。

CONTENTS

株主のみなさまへ	1
営業の概況	2
トピックス	4
営業成績および財産の状況の推移（連結）	5
第2四半期連結貸借対照表	6
第2四半期連結損益計算書／第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
会社の概況／役員	8
株主メモ	9



株主のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当社第112期第2四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年9月30日まで）の営業の概況をとりまとめましたので、ここに本報告書をお届け申し上げます。

当社は、当社グループの強みである海外ネットワークと国際物流を活かした新たなビジネスモデルを、グループ一体となって創出し続けることで、更なる飛躍と持続的成長を目指してまいります。

当年度の中間配当金につきましては、1株当たり28円とし、本年12月7日を支払開始日とさせていただきます。

株主のみなさまにおかれましては、変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

筒井雅洋

会社の概要

株式会社 日新

NISSIN CORPORATION

本 店	横浜市中区尾上町六丁目81番地 ☎045-671-6111	設 立	1938年12月14日
東京事務所	東京都千代田区三番町5番地 ☎03-3238-6666	資 本 金	60億9,726万3,500円 (2020年9月30日現在)
		ホームページ	https://www.nissin-tw.com/

営業の概況

当第2四半期の経営成績の概況

① 当第2四半期の経営成績

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、中国及びアジアの一部地域で回復の動きが見られたものの、新型コロナウイルス感染症拡大の懸念は依然継続しており、本格的な経済活動再開には至りませんでした。当社におきましても、貨物の動きは緩やかながら回復傾向を示しましたが、旅客数の減少は依然厳しい状況が続きました。このような状況下、当社グループは感染拡大の予防、テレワーク、サテライト事務所設置等、感染拡大防止に努めるとともに、一層の経費削減に取り組みました。しかしながらこれら諸施策実施の効果は限定的であり、厳しい経営環境が継続しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間（以下「第2四半期」）における売上高は前年同期比33.1%減の69,183百万円、営業損失は251百万円（前年同期 営業利益1,897百万円）、経常利益は前年同期比73.5%減の612百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は155百万円（前年同期 親会社株主に帰属する四半期純利益1,455百万円）となりました。セグメントの業績は以下の通りとなります。

② セグメントの業績

(i) 物流事業

[日本]

輸入関連は旺盛な中食需要継続により食品関連輸

入、倉庫保管、国内配送案件が堅調に推移しました。また、生活雑貨貨物の輸入、倉庫保管、家電製品の取扱いも好調でした。輸出は、航空便の減便等で輸送量が制限され、取扱い総重量は伸び悩みましたが、中国での工業製品生産の回復に伴い、電子部品の航空輸出が第2四半期を通じ、好調を維持しました。

[アジア]

インド、タイ、マレーシアにおいて自動車関連貨物の荷動きが徐々に回復、ベトナムでは電子部品関連の扱いが増加、特に航空貨物輸出が好調でした。

[中国]

工業製品生産の回復が著しく、国内需要も活発でした。これらに伴い米国向け電子機器、部品の航空輸出、生活雑貨貨物の欧州向け鉄道輸送、日本向け家電製品輸出が好調でした。中国国内向け生活雑貨関連のDC業務も底堅く推移しました。

[米州]

食品の日本向け海上輸出は第2四半期を通じ堅調に推移しました。自動車関連貨物は7月以降緩やかながら荷動きの回復が始まり、倉庫部門は堅調に推移しました。一方、フォワーディング部門は伸び悩みました。

[欧州]

ドイツでの家電製品の倉庫保管、配送業務はほぼ例年の物量まで回復しましたが、英国、ドイツの自動車関連貨物の荷動きは依然低迷しました。

この結果、売上高は前年同期比7.3%減の67,090百万円、営業利益は前年同期比37.7%減の742百万円となりました。

(ii) 旅行事業

日本発着便については一部の地域間でフライトが再開されましたが、依然、旅客数の回復には至っておりません。

この結果、売上高は前年同期比95.1%減の1,496百万円、営業損失は1,379百万円（前年同期 営業利益239百万円）となりました。

(iii) 不動産事業

インバウンド需要低迷により京浜地区における駐車場収入が減少しました。

この結果、売上高は前年同期比9.4%減の776百万円、営業利益は前年同期比17.5%減の378百万円となりました。

通期の連結業績見通しは、次のとおりです。

連結業績見通し

売上高	147,000 百万円	(前期比 25.5%減)
営業利益	100 百万円	(前期比 97.2%減)
経常利益	1,000 百万円	(前期比 75.7%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	300 百万円	(前期比 88.9%減)

事業別の売上高の推移

部門	第111期		第112期第2四半期(累計)	
	売上高	構成比	売上高	構成比
物流事業	143,543 百万円	72.7 %	67,090 百万円	97.0 %
旅行事業	52,603	26.6	1,496	2.2
不動産事業	1,725	0.9	776	1.1
調整額	△485	△0.2	△180	△0.3
合計	197,387	100.0	69,183	100.0

トピックス

浮島町所在土地・建物を取得

当社は、本年8月に神奈川県川崎市川崎区浮島町所在の土地・建物を取得しました。

同土地は、従来からその一部（1,788坪）を当社グループ会社から賃借し、当社が貯蔵タンク等を建設して営業を行っており、「川崎化成成品油槽所」として当社の化学品・危険品物流の重要な役割を担ってきました。

今般、事業拡大等を目的に、賃借土地および隣接した同グループ会社が所有する土地・建物を売買により取得しました。

今後は、従来サービスに加えて更なる化学品・危険品物流メニューの拡充に努めて参ります。



川崎化成成品油槽所の概要

所 在：川崎市川崎区浮島町10-13

地 積：12,709.89㎡（3,844坪）
※ 2,056坪増加

主な設備：危険品貯蔵タンク4基
無機薬品貯蔵タンク3基
化学品サイロ6基
内航船棧橋（係船能力2,719積載重量トン）

シンガポール日新ハラル認証取得

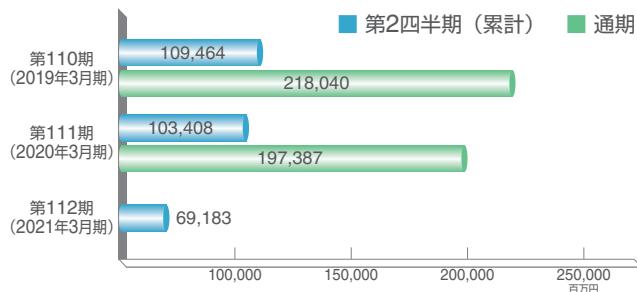
シンガポール日新は、4月にハラル認証機関である Majilis Ugama Islam Singapuraより、自社倉庫におけるハラル取扱い認証を受けました。

同社で新たに食品保管業務を行うため、取得に至ったもので、ハラル認証は現地で食品関連貨物を取扱う上で不可欠なライセンスとなります。今後は、保管商品の拡大、新規顧客拡大に努めて参ります。

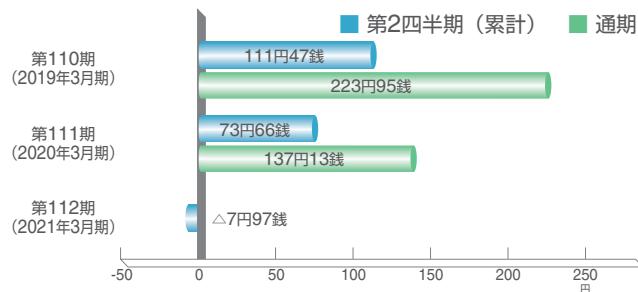


営業成績および財産の状況の推移（連結）

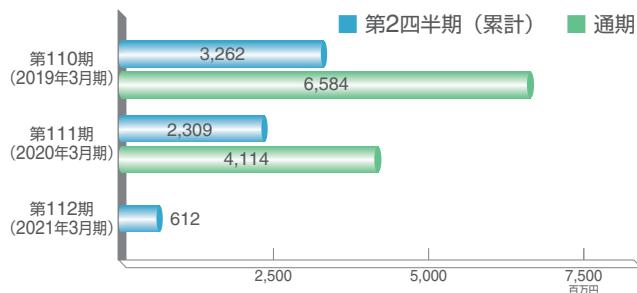
売上高



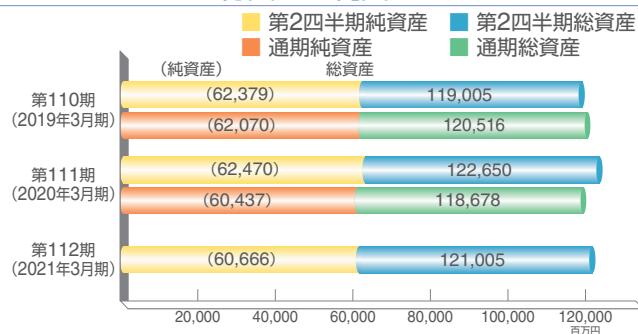
1株当たり四半期（当期）純利益又は1株当たり四半期純損失（△）



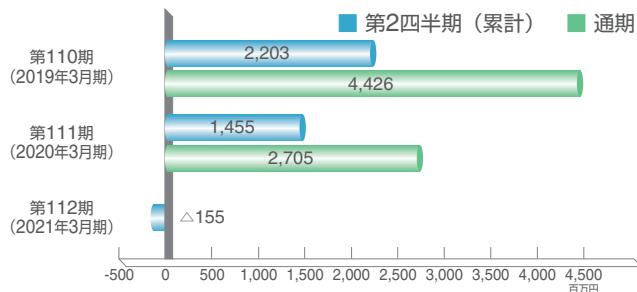
経常利益



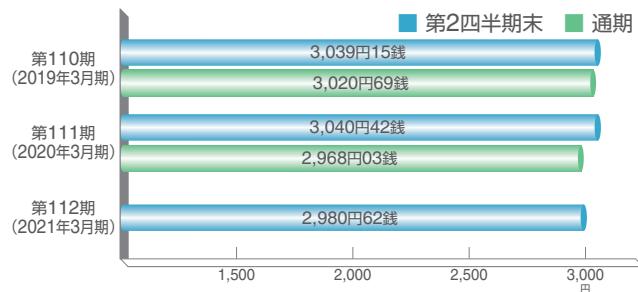
総資産・純資産



親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）



1株当たり純資産



第2四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度末 (2020年3月31日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (2020年9月30日現在)
資 産 の 部		
流 動 資 産	48,693	47,496
現金及び預金	19,367	21,807
受取手形及び売掛金	24,060	21,319
その他の	5,352	4,451
貸倒引当金 △	86	△ 82
固 定 資 産	69,985	73,508
有 形 固 定 資 産	48,629	51,493
建物及び構築物	20,956	20,233
機械装置及び運搬具	3,896	3,592
土地	21,833	23,523
その他の	1,941	4,143
無 形 固 定 資 産	1,689	1,687
投資その他の資産	19,666	20,328
資 産 合 計	118,678	121,005
負 債 の 部		
流 動 負 債	31,518	29,313
支払手形及び買掛金	10,803	9,321
短期借入金	9,211	10,035
その他の	11,503	9,956
固 定 負 債	26,722	31,024
社債	2,000	2,000
長期借入金	13,658	18,324
その他の	11,063	10,700
負 債 合 計	58,241	60,338
純 資 産 の 部		
株 主 資 本	58,043	57,338
資本金	6,097	6,097
資本剰余金	4,711	4,711
利益剰余金	48,298	47,593
自己株式 △	1,063	△ 1,064
その他の包括利益累計額 △	19	930
非 支 配 株 主 持 分	2,413	2,397
純 資 産 合 計	60,437	60,666
負 債 純 資 産 合 計	118,678	121,005

Point ① 資産の部

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、新型コロナウイルス感染症の影響により貨物量、旅客数が減少したことなどから売上高が減少し、受取手形及び売掛金が減少しましたが、新倉庫への設備投資や土地の取得を行い、有形固定資産が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ2,326百万円増の121,005百万円となりました。

Point ② 負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債は、資産と同様に新型コロナウイルス感染症の影響により売上原価が減少し、支払手形及び買掛金が減少しましたが、新倉庫への設備投資資金などの調達により長期借入金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ2,097百万円増の60,338百万円となりました。

Point ③ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により利益剰余金が減少しましたが、その他有価証券評価差額金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ229百万円増の60,666百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末より0.7ポイント減の48.2%となりました。

第2四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)
売上高	103,408	69,183
売上原価	87,145	56,787
売上総利益	16,262	12,395
販売費及び一般管理費	14,364	12,647
営業利益又は営業損失(△)	1,897	△ 251
営業外収益	667	1,149
営業外費用	255	285
経常利益	2,309	612
特別利益	140	26
特別損失	117	199
税金等調整前四半期純利益	2,333	439
法人税、住民税及び事業税	992	531
法人税等調整額	△ 184	61
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,525	△ 152
非支配株主に帰属する四半期純利益	69	3
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,455	△ 155

Point ④ 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは3,479百万円の収入となり、前年同期に比べ177百万円収入が減少しました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益が減少したことによるものです。

Point ⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは5,106百万円の支出となり、前年同期に比べ3,162百万円支出が増加しました。その主な要因は、有形固定資産の取得による支出が増加したことによるものです。

Point ⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは3,587百万円の収入となり、前年同期に比べ6,085百万円収入が増加しました。その主な要因は、長期借入れによる収入が増加したことによるものです。

この結果、当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の残高は20,426百万円で、前連結会計年度末に比べ1,952百万円の資金の増加となりました。

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	3,656	3,479
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,943	△ 5,106
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 2,498	3,587
現金及び 現金同等物に係る換算差額	△ 220	△ 8
現金及び 現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,005	1,952
現金及び 現金同等物の期首残高	17,846	18,474
連結子会社の決算期変更に伴う現金 及び現金同等物の増減額(△は減少)	905	—
現金及び 現金同等物の四半期末残高	17,746	20,426

会社の概況

株式の状況

(2020年9月30日現在)

- ①発行可能株式総数 40,000,000株
- ②発行済株式総数 20,272,769株
(うち自己株式 683,968株)
- ③株主数 3,531名
- ④大株主(上位10名)

株 主 名	持 株 数
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,060 千株
株式会社三菱UFJ銀行	986
株式会社横浜銀行	978
日新商事株式会社	890
日本生命保険相互会社	735
株式会社三井住友銀行	649
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	619
三菱UFJ信託銀行株式会社	587
日新社員持株会	542
損害保険ジャパン株式会社	528

グループ国内主要拠点

北海道、東京、神奈川、千葉、大阪、兵庫、福岡 他

グループ海外主要拠点

アメリカ、カナダ、メキシコ、イギリス、ベルギー、ドイツ、フランス、ロシア、ポーランド、オーストリア、シンガポール、マレーシア、タイ、インドネシア、ベトナム、インド、ラオス、フィリピン、香港、中国、台湾 他

役員

(2020年11月9日現在)

取締役社長 社長執行役員 (代表取締役)	筒 井 雅 洋
取締役 専務執行役員 (代表取締役)	渡 邊 淳 一 郎
取締役 専務執行役員	筒 井 昌 隆
取締役 常務執行役員	枅 田 建 二 郎
取締役 常務執行役員	石 山 知 直
取締役 常務執行役員	鳥 尾 知 省 治
取締役 常務執行役員	中 込 利 嘉
社 外 取 締 役	藤 本 進
社外取締役 監査等委員(常勤)	藤 根 剛 雄
社外取締役 監査等委員	小 林 貞 彦
社外取締役 監査等委員	増 田 文 彦
常 務 執 行 役 員	中 嶋 粹 芳
常 務 執 行 役 員	栞 原 智 男
常 務 執 行 役 員	桜 井 哲 廣
執 行 役 員	尾 野 本 哲 進
執 行 役 員	梅 本 村 一 康
執 行 役 員	木 村 樹 一
執 行 役 員	峯 川 島 茂 潤
執 行 役 員	章 島 征 一 栄
執 行 役 員	木 村 国 祥 雄 一
執 行 役 員	南 稻 勝 志 貴 夫
執 行 役 員	珍 田 昌 一 稔
執 行 役 員	山 田 哲 忠
執 行 役 員	大 久 保 行 淳
執 行 役 員	不 破

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.nissin-tw.com/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

各種手続のお申出先

- 未受領の配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等
証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行へお申出ください。

特別口座でのお手続用紙のご請求はインターネットでもお受け付けております。

ホームページアドレス <https://www.tr.mufj.jp/daikou/>

(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

ホームページのご案内

<https://www.nissin-tw.com/>

最新の情報は当社ホームページで
ご覧いただけますのでご利用ください。





横浜交易西洋人荷物運送之図 五雲亭貞秀（神奈川県立歴史博物館所蔵）

NISSIN CORPORATION

